

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」生徒感想文

地域に学ぶ中学生体験活動週間「トライやる・ウィーク」は、市立3中学校が終了し、11月7日から県立芦屋国際中等教育学校が実施予定です。今年度は、市内105もの事業所のご協力を得て実施することになりました。生徒たちは、ふれあったかたがたからの何気ない一言から学び、元気づけられ、成長の糧とすることができました。指導いただいた事業所や応援いただいた地域の皆さん本当にありがとうございました。



杵屋(山手中)



生涯学習課文化財係(山手中)



JR芦屋北自転車駐車場(潮見中)



芦屋市役所食堂<なんすい食品>(潮見中)



フラワーショップフローラ(精道中)



県立海洋体育館(精道中)

伊勢幼稚園での活動 精道中学校 横田 陽香

幼稚園の先生がたは、見守ることの他にも園児たちのことを考え、気配りをしていることに気づきました。私たちも先生がたがその日の打ち合わせをする朝礼に参加しました。朝礼では予想外のことがあった時、どんな説明をしたら園児に伝わるのか、どのように感じるのかを考え、そのことを踏まえてより良い説明の仕方を考えている細かい心遣いに驚きました。幼稚園に楽しく通える理由は、そうした先生がたの心遣いにあるのだと実感しました。

私は、トライやる・ウィークを通して、働くということを少し身近に感じることができました。どんな職業に関しても相手の気持ちを第一に考え、それに基づいて自分がどのような行動をすべきかを判断することは、とても大切だと感じます。

私も日々の生活から相手の気持ちを考え、行動することを心がけて生活したいです。

OLL DESIGNでの活動 精道中学校 岩崎 茜

トライやる・ウィークの1週間で、実際に出店する店舗のロゴや看板、平面図、立面図をたくさんの時間をかけて書きました。事業所のかたはパソコンでソフトを使って図面を書いていました。事業所のかたの案を見せてもらった時、私は、私の案がとても恥ずかしくなりました。デザインや設計をする上で大切なことは「お客さんに来てもらえる店にすること」「お客さんが使いやすい内装にすること」です。私はそこに配慮が足りませんでした。一見、座ってパソコンを打っているだけに見えても、考え、悩み、そして頑張っていることが分かりました。この世界にも勝負があり、それに勝つために努力している人、社会の厳しさを目の当たりにしました。

私にとって、この一週間は楽しく、新鮮なためになるものでした。事業所で学んだこと、気づかされたこと、かけられた言葉の全てが私の大切な経験という名の財産です。

アクティブライフ芦屋での活動

山手中学校 稲垣 杏花

最終日、今までお世話になったかたがたの前でピアノを弾きました。とても皆さんが喜んでくださり、とてもうれしかったです。

私は音楽療法の道に進もうと思っているけど、それを事業所の人に話すと、「ぜひ、その道を進んでほしい。」と応援してくださいました。介護という仕事は、達成感が感じられ、笑顔を引き出すことができる職業だと教えてくださいました。私は、人の役に立つ仕事をしたいと思うし、素晴らしいことだなと思います。今回のトライやる・ウィークで学んだことは、数えきれないほどあるけど、やはり、自分の将来についてよく考え、それに向かって頑張ろうと思うことができたのは、私にとってとても大きかったです。5日間頑張った良かったし、体験する仕事を「介護福祉」にして良かったと思えました。

トライやる・ウィークで学んだことは忘れず、自分の夢もあきらめずに、本当になりたいものになれるように、これから努力したいです。

消防本部での活動 山手中学校 山崎 天真

この5日間、本当にたくさんのことを経験させていただきました。特に阪神淡路大震災の時の話では、メモ欄に書ききれないくらい多くのことを学びました。僕の目標「成長する一週間にする」は達成でき、それどころか人生の糧になった一週間でした。

消防士のかたがたは、僕たちの想像を超える過酷な訓練を毎日されています。現場に行ったとき、人を救助するときは一瞬を争います。だから人を救うため、この芦屋市を救うためにしんどい日々を送っています。それは仕事に対して一番大切にすることでもあり、厳しさでもあります。すごく格好良いなと思いました。消防本部のかたがたを見て、協力する力・団結する力の大切さに気付かされました。消防士も「チーム」で救助を行います。そんな時に意思疎通が出来ていなければ、その間に人が死んでしまいます。だから意思疎通にはすごくこだわっていて、声の出し方、行動など完璧にそろっていました。僕も野球部でチームプレーをしているので、本当にすごいなと感心しました。今、この一分一秒も、皆仕事に必死に頑張っています。僕も誰かのため、世界のために死力を尽くせるような人間になりたいです。

海洋体育館での活動 潮見中学校 西浦 祐生

この事業所に決まったとき、行ったこともあるのでわくわくしました。しかし、事前訪問で、私たちがお世話になるのに、事業所のかたは、丁寧に敬語を使って対応してくださいました。社会人になったようで、わくわくから気持ちが変わって少し緊張しました。初日にいきなり注意をされました。「自分で周りを見て考えて動きなさい。」と言われました。これは、働く上で一番大切な事なのかなと思いました。仕事に少し慣れてきて、余裕が出てきたころ誰かのために一生懸命働くということは、とても楽しいことだと実感しました。

このトライやる・ウィークでの体験で、もっともっといろいろなことを積極的に体験していこうと思いました。事業所のかたが、まだまだ知らない世界はたくさんあるとおっしゃいました。私は、その知らない世界を知っていきたくです。そしてその知識、経験などを自分の将来に生かしていきたいです。

asha hair solution での活動

潮見中学校 廣谷 真緒

期間中、失敗することもありました。そんなとき、事業所のかたがたは、お客様に分からないようにカバーしてくださいました。事業所のかたがたは、どんなときでも明るくて、どんなときでも笑っていました。でも、失敗してしまうと自分に自信が持たなくなってしまいました。事業所のかたにはとても申し訳ないと思っていました。でも最終日には失敗はなくなり「ありがとう」と言われる回数も多くなりました。「ありがとう」と言ってもらえると自信を持つことができました。次につなげることが出来ます。それに失敗しても「明日は同じ失敗をしない。」と思ってやっていると、いつの間にか失敗しないようになります。この体験から学んだことは、社会に出れば学校以上につらいことがあるけれど、いつでも前向きに笑顔で冷静に一生懸命やっていたら、相手に伝わるということです。

お客様が不快に感じないよう努力することは難しかったです。この5日間で学んだことをこれからの学校生活で生かしていきます。

新たにトライやる・ウィークの受け入れをお考えの事業主のかたは、学校教育課(☎38-2087)へお知らせください。

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087